

ユトナーへの2805枚の葉書 Alone in Berlin

映画ライター 渡辺稔之

(九七〇字)

profile

わたなべとしゆき 一九五九年生まれ。青山学院大学経営学部卒。アテネ・フランセ文化センターのアルバイトを経て、映画ライターに。新潮社のコミック誌『パンチワールド』―北斗の拳―、共同通信社のテレビ情報誌『T v f a n』に映画評論を、日本経済新聞朝刊日経プラス・ワンに映画人インタビューを寄稿。得意分野は映画史全般で、現在までに一万本以上の映画を鑑賞。

ドイツ人作家ハンス・ファラダがゲシュタポの記録文書をもとに書き上げた小説『ベルリンに一人死す』の映画化。

フランスがドイツに降伏した一九四〇年六月、ベルリンのアパートで暮らすオットーとアンナのクヴァンゲル夫妻のもとに、一人息子ハンスの戦死の公報が届く。夫妻は悲しみのどん底に沈み、オットーは「総統は私の息子を殺した。あなたの息子も殺されるだろう」とヒトラーへの怒りをポストカードに記し、アンナとともにそれを公共の場所に置いて立ち去るといふ活動を繰り返すようになる。ゲシュタポのエッシャリヒ警部が捜査に乗り出す、死をも覚悟した二人は、政権批判のカードを一〇〇枚、二〇〇枚と配布し続けていく……。

反戦を題材にした硬派の作品だが、カードを配るオットーとアンナ、それを追うエッシャリヒ双方の側から描かれた攻防が、スリリングな緊迫感を生み、上質なサスペンス

映画の趣きを醸し出す。カードを置いたオットーがエレベーターで降下し、カードを見つけた住人が階段を駆け下りる。捕まるか、逃げられるかのぎりぎりのサスペンス。あるいは、アンナに無断で工場勤務を休んだオットーを、活動がばれてつかまつたのでは、と探し回るアンナの焦燥感。細部までいいねいに描かれたディテールが手に汗握るスリルとサスペンスを生み、映画本来のおもしろさを堪能できる。

アンナ役は「ハワーズ・エンド」「日の名残り」の女優エマ・トンプソン、オットー役は「ハリイ・ポッター」のマッドアイ・ムーディ役で知られるブレンダン・グリーソン。実力派の二人が死と隣り合わせの道を歩む夫婦の絆を見事に描出。ゲシュタポの警部の中に潜む人間性を巧みに表現するエッシャリヒ役のダニエル・ブリュールとともに、リアルで奥の深い演技を見せている。

監督は「インドシナ」「王妃マルゴ」のフランスの美男スター、ヴァンサ

ン・ペレーズ。父方の祖父をスペインのフランコ將軍のファシスト政権に処刑され、母親がドイツ系でナチから逃れて国外脱出したという彼にとつて、本作の映画化は必定といえるだろう。原作は、一九四七年に書かれたが初版発行から六〇年を経た二〇一〇年に初めて英訳され世界的ベストセラーとなった。数奇な運命を経て映画となった本作は、現代に生きるわ

れわれに、人間の尊厳をおびやかすファシズムの脅威と平和への希求を強く訴えかける。

(二〇一六年) フランス・ドイツ・イギリス合作
／カラー／一〇三分／監督・脚本…ヴァンサン・ペレーズ／原作…ハンス・ファラダ／音楽…アレクサンドル・デスプラ／撮影…クリストフ・ボーカルヌ／出演…エマ・トンプソン、ブレンダン・グリーソン、ダニエル・ブリュール／配給…アルパトロス・フィルム／七月八日(土)よりヒューマントラストシネマ有楽町、新宿武蔵野館ほか全国順次公開



© X Filme Creative Pool GmbH / Master Movies / Alone in Berlin Ltd / Pathé Production / Buffalo Films 2016